

ICTを活用した授業実践事例

学校名	姫路市立東光中学校	実践日	平成29年5月13日 (土)
研究内容	(2) ICTの特性や強みを生かした「主体的・対話的で深い学び」の実践	学年	2年
		教科等	外国語
		単元名	過去進行形
	ICTを活用した学習活動の説明	ゲーム形式で、新しい文法事項を導入・練習する。	
	主なICT活用のねらい	<input type="checkbox"/> 課題の提示 <input checked="" type="checkbox"/> 教員の説明資料 <input checked="" type="checkbox"/> 繰り返しによる定着 <input type="checkbox"/> モデルの提示 <input type="checkbox"/> 比較 <input checked="" type="checkbox"/> 振り返り	<input checked="" type="checkbox"/> 動機付け <input type="checkbox"/> 学習者の説明資料 <input type="checkbox"/> 体験の想起 <input type="checkbox"/> 失敗例の提示 <input type="checkbox"/> 体験の代行 <input type="checkbox"/> その他 ()
	活用形態	<input type="checkbox"/> 一斉学習 <input type="checkbox"/> 個別学習 <input checked="" type="checkbox"/> 協働学習	
	活用場面	<input checked="" type="checkbox"/> 導入 <input type="checkbox"/> 展開 <input checked="" type="checkbox"/> まとめ	

○成果（効果）等

教員	○パワーポイントを使って提示することで、生徒が場面状況を想像しやすくなった。また、反復練習が簡単にできるので、定着をはかることができた。
児童生徒	○初めに写真を見て、場面に合う英語を考えることができた。その後、正しい英語を確認し、自分の間違いに気づくことができた。また、何回も反復練習ができ、定着につながった。

ICTを活用した授業実践事例

学校名	淡路市立一宮中学校	実践日	平成29年7月10日 (月)
研究内容	(1) 各教科等の授業における効果的なICT利活用の実践	学年	3年
		教科等	外国語
		単元名	Lesson3B
	ICTを活用した学習活動の説明	memoのマイク機能を使って音読練習をする。	
	主なICT活用のねらい	<input type="checkbox"/> 課題の提示 <input type="checkbox"/> 教員の説明資料 <input checked="" type="checkbox"/> 繰り返しによる定着 <input checked="" type="checkbox"/> モデルの提示 <input type="checkbox"/> 比較 <input checked="" type="checkbox"/> 振り返り	<input type="checkbox"/> 動機付け <input type="checkbox"/> 学習者の説明資料 <input type="checkbox"/> 体験の想起 <input type="checkbox"/> 失敗例の提示 <input type="checkbox"/> 体験の代行 <input type="checkbox"/> その他 ()
	活用形態	<input type="checkbox"/> 一斉学習 <input checked="" type="checkbox"/> 個別学習 <input type="checkbox"/> 協働学習	
	活用場面	<input type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ	

○成果（効果）等

教員	○一斉で音読をすることも、大切な反復練習の1つだが、個に応じて読むスピードも力にも差が出てきている。発音したものが文字となって現れるので、それぞれの読む力を目で確認することができ、評価することもできる。
児童生徒	○発音しにくい単語や文を何度も聞き直し反復練習できる。自分のペースで発話し、録音されたものが文字となって確認できるのも楽しいようで、自然と何度も繰り返し納得いくまで音読していた。

ICTを活用した授業実践事例

学校名	淡路市立一宮中学校	実践日	平成29年7月12日（水）		
研究内容	(2) ICTの特性や強みを生かした「主体的・対話的で深い学び」の実践	学年	2年	教科等	外国語
		単元名	Lesson 4		
	ICTを活用した学習活動の説明 学級の仲間の英作文を利用し、会話の練習を行う。	主なICT活用のねらい	<input type="checkbox"/> 課題の提示	<input type="checkbox"/> 動機付け	
			<input type="checkbox"/> 教員の説明資料	<input type="checkbox"/> 学習者の説明資料	
<input type="checkbox"/> 繰り返しによる定着	<input type="checkbox"/> 体験の想起				
<input type="checkbox"/> モデルの提示	<input type="checkbox"/> 失敗例の提示				
<input type="checkbox"/> 比較	<input type="checkbox"/> 体験の代行				
<input type="checkbox"/> 振り返り	<input checked="" type="checkbox"/> その他（課題共有）				
活用形態	<input type="checkbox"/> 一斉学習	<input type="checkbox"/> 個別学習	<input checked="" type="checkbox"/> 協働学習		
活用場面	<input type="checkbox"/> 導入	<input checked="" type="checkbox"/> 展開	<input type="checkbox"/> まとめ		
英作文を利用しながら会話している様子					

○成果（効果）等

教員	○Google ドキュメントの共同編集機能を利用し英作文を行う。学級の生徒がタブレット端末に一斉に書き込むので、英作文が苦手な生徒も得意な生徒の英文を参考にしながら英作文に取り組める。また、その英文を利用して会話を行うが、あまり書けなかった生徒も他の生徒の英文を利用して会話練習ができる。 ○共有が容易にでき、ペーパーレス、生徒の英作文の添削も容易にできた。
児童生徒	○共同編集を使えば生徒たちの学び合い支え合いが容易に実現できる。会話練習も、コミュニケーションが苦手な生徒も主体的に取り組んでいた。仲間の力やデジタルの力は大きいと感じた。

ICTを活用した授業実践事例

学校名	淡路市立一宮中学校	実践日	平成30年1月25日（木）		
研究内容	(3) 児童生徒の情報活用能力を育成する授業実践	学年	2年	教科等	外国語
		単元名	Reading		
	ICTを活用した学習活動の説明 Google Classroomを利用した長文読解練習	主なICT活用のねらい	<input type="checkbox"/> 課題の提示	<input type="checkbox"/> 動機付け	
			<input type="checkbox"/> 教員の説明資料	<input type="checkbox"/> 学習者の説明資料	
<input type="checkbox"/> 繰り返しによる定着	<input type="checkbox"/> 体験の想起				
<input type="checkbox"/> モデルの提示	<input type="checkbox"/> 失敗例の提示				
<input type="checkbox"/> 比較	<input type="checkbox"/> 体験の代行				
<input type="checkbox"/> 振り返り	<input checked="" type="checkbox"/> その他（機能拡張）				
活用形態	<input type="checkbox"/> 一斉学習	<input checked="" type="checkbox"/> 個別学習	<input checked="" type="checkbox"/> 協働学習		
活用場面	<input type="checkbox"/> 導入	<input checked="" type="checkbox"/> 展開	<input type="checkbox"/> まとめ		
Google Classroomを活用					

○成果（効果）等

教員	○長文読解の練習をペーパーレスで実現している。印刷や配布の手間が不要で、学習者にとっていい英文だと思ったものはコピーアンドペーストですぐに学習者に配信できる。掲示板形式なのでヒントや注意事項、どうしてもわからないことなどはそこに書き込むことができる。
児童生徒	○わからない語はすぐに辞書検索できる手軽さがどんどん読み進めていきたいという動機につながっている。タブレット端末のメモに自分で和訳を書いたり、グループで段落に分けて自分たちでジグソーのように分担したりと指導者の予想を超えた方法で課題解決をしようとしていた。